

## 令和6年度 南区地域福祉アクションプラン地区別計画進捗確認一覧

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
新飯田	笑顔いっぱい「おたがいさまらて」と心が通い合う新飯田	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「移動式茶の間」 今後の継続的開催には「会場の整備」「会場までの参加者の送迎」の課題があり、継続検討するほか、地域でサポートしてくれる人の確保、育成も課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新飯田巡回茶の間」で参加を促すポイント制を取り入れる</li> <li>・敬老祝いの訪問事業や地区社協の訪問活動を継続、顔の見える関係づくりを行う</li> </ul>								
		地域活動への住民の参加推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災活動 災害時の避難で支援を必要とする要支援者の把握や日頃から自治会といった身近な範囲で意識し合える環境づくりが課題となる</li> <li>・各自治会にアクションプランや支え合いの必要性を説明する機会を設け連携する必要あり</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループふおはあとの活動「夢みる遊び場」での子どもの居場所づくりを通し、食材提供や寄付などの多様な参加の形をつくる</li> </ul>								
		防災・減災活動への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/7防災訓練では車いすやシルバーカーの利用者の参加もあり避難に不自由な方の支援を考えた</li> <li>・要支援者名簿の対象者を自治会や班の単位で共有の場を作る検討をする</li> </ul>								
		地域のPR		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長の集まる機会などにアクションプランや支え合いの説明を検討する</li> <li>・LINEを活用した行事の発信や、行政のXの活用依頼なども検討する</li> </ul>								
茨曽根	笑顔で支え合う 桃の花咲く 茨曽根	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動事業の次世代担い手不足</li> <li>・災害時安否確認訓練は実施できたが内容を住民に理解してもらうために継続が必要</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の新たな活動（グラウンドゴルフ等）を地域で応援できると良い</li> <li>・次世代の担い手育成を今年度の様な活動を継続することで取組み続けていく</li> <li>・地域みんなが考えるような防災啓発を地震で意識が高いうちに実施していく</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の茶の間の参加者増</li> <li>・下茨自治会見守りとゴミ出し支援継続</li> <li>・外出支援の方法を検討する</li> <li>・健康体探スポーツ推進員との協働 グラウンドゴルフやポッチャ、リバイバルダンスの推進</li> </ul>								
		子ども達を地域で育てる取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに多様な体験の機会をつくる（サマーフェスティバル、樽ばやし）</li> <li>・白南中学生の地域課題解決を考える総合学習に協力していく</li> <li>・地域活動で子どもが活躍できる場をつくり自己肯定感を高める</li> </ul>								
		防災・減災の取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と合同開催の防災訓練を実施</li> <li>・避難行動要支援者の安否確認訓練を自治会防災マップと緊急連絡網を活用して実施</li> </ul>								
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協だよりでのアクションプランの活動情報発信</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画		R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	評価					
	スローガン	推進目標					住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
庄瀬	声をかけ合う話し合う助け合う沢山の合(愛)がある庄瀬	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の連絡体制について。平日のセンター開館時のマニュアルしかなかった。</li> <li>・障がい施設と職員の異動等で交流が途絶えてしまった。「わからない」＝「怖い」になってしまう。</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・なじらね庄瀬の活動範囲として、南区内に限定しているが、通院の付き添いに限り、加茂市や田上町なども対象にすることを検討する。</li> <li>・災害時の連絡体制の確立とマニュアル化。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスの継続 通院支援については、区外への送迎も検討を継続 本当にニーズのある方に届くサービスの周知を工夫する</li> <li>・健康寿命延伸の取組み 各自治会1名選出の保健推進員主体で白根総合病院と連携、文化祭などでの健康づくり講演を企画する</li> <li>・地域活動に参加できる形で次世代の参加を推進 白南中学校の総合学習で中学生の考えた地域活動のアイデアを地域活動に取り入れ、次世代の地域活動への参加のきっかけにする</li> <li>・防災訓練 災害時連絡体制は一部の自治会で取り組んでいるが、自治会ごとに差がある。秋の防災では地区内だけでなく行政にも参加を依頼する企画を行う。</li> <li>・小学校との連携継続、防災計画を実施</li> <li>・要支援者防災計画の推進 災害時避難行動要支援者名簿と地域の実状のすり合わせ、確認を行う</li> <li>・自治会長と民生委員の意見交換会の継続とさらなる推進 地域で見えづらいひきこもりの課題についてをテーマに勉強会を開催し、地域での情報共有や理解促進に努めていく</li> </ul>								
		若い世代との交流推進										
		防災・減災活動への取組み										
		組織強化										
小林	声かけ合い心をつなぐ小林地区	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体での子どもと大人の交流は次年度の課題</li> <li>・一般住民の防災訓練の参加率が低く、意識を高めることが課題</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士の増員を図る</li> <li>・一般住民の防災意識の啓発につながる活動事業の工夫を行う</li> <li>・通院のニーズへの対応など、移動支援の拡充検討</li> <li>・お助け隊こはやしへの若い世代の参加を促す、移動支援運転者を増やす</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスの登録会員が活躍できるような工夫をする お助け隊通信発行、ボランティア募集チラシ全戸配布、多くの登録会員が活動に参画できるよう、会員交流会を開催する</li> <li>・「健康ますます元気になります隊」の講座継続、次世代の参加を促す</li> <li>・住民に身近な自治会組織への啓発継続</li> <li>・障がい者の方への理解を広げる取り組みの継続と工夫 現在行っているふれあい昼食会以外にもできることを検討していく</li> <li>・学童保育や小学校のボランティアの活動などを継続していく</li> <li>・防災訓練などの事業の継続 小学校の引き渡し訓練と同日開催とし、若い世代にも考えてもらう 自治会によっては要支援者の安否確認訓練ができているため、良い取り組みを地区内に広げていけるようにはたらきかけていく</li> <li>・コミ協だよりの情報発信の工夫 お助け隊に関する情報発信やアクションプランの情報発信をチラシなどで全戸配布するほか、コミ協だよりのみならずでも随時活動の情報を発信していく</li> <li>・自治会長へのアクションプランの説明と啓発の継続</li> </ul>								
		子どもの健やかな成長を育む										
		防災・減災の取り組み										
		情報発信										

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画		R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	評価							
	スローガン	推進目標					住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR		
臼井	「やろってば！」笑顔で仲良く臼井地区	既存組織を大切に育て連携する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校実施の避難訓練に、地域も一緒に何かできると良い。</li> <li>・アクションプランや事業の実施について、役員のみが会議等に参加しているため、事務局にも参加してもらい地区の活動について共有していく必要がある。</li> <li>・多世代交流では初めての取り組みということもあり、一部の施設にしか案内がなかったため、行事の際は地区内の施設全てに情報提供できるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災関係                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月：小学校と合同で防災訓練の実施</li> <li>・小規模多機能うすいやデイサービスうすいととの連携について検討していく</li> <li>・中学生が避難の手助けをできるよう、デイうすいが講師となって車いすの介助方法を伝える授業を予定している</li> </ul> </li> <li>●支え合い関係                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センターが認知症講座を中学校で開催予定</li> <li>・70+100+を行う多世代交流会と合わせての認知症講座をコミ協で継続開催</li> </ul> </li> <li>●その他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協事務局の地域の協議の場への参加については、共有できるように会議録などを供覧するほか、会議出席者が事務局と共有の時間を取るなど工夫していく</li> <li>・人口減少等の地域課題については、子どもや若い世代、女性など多様な方々の意見を取り入れながらできることから取り組んでいけると良い</li> </ul> </li> </ul>										
		既存事業を活発に												
		交流・仲間づくりができる集まる場がある地区			送迎を含め誰もが参加できる検討									
		事業者も地区の一員・交流積極的に												
		あいきつ運動を実施する												
		ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区			ボランティアや地区活動に積極参加									
		行事や活動の情報提供・PR												
大郷	なじらね～？と声をかけあう大郷地区	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りについて。外に出てこない人の状況確認。</li> <li>・認知症の理解について。集まる機会に地域包括支援センターに来てもらう。困ったとき相談できるような顔つなぎの機会づくり。</li> <li>・障がい者支援について、地域のどこに住んでおられるか等、情報共有が課題</li> </ul> </li> <li>●新たな課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の介護参加について。</li> <li>・災害時の連絡体制や自治会長等が自分たちの地域を見守る仕組みづくりができるといい</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスについて学ぶ機会や介護者同士の思いを共有できる場づくり</li> <li>・災害時避難所の物品がどこに何があるのか把握できるような一覧等の作成</li> <li>・多世代交流事業の継続</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5のまちづくりサポート事業の継続                             <ul style="list-style-type: none"> <li>コンポストで作った肥料を使った畑での野菜作りと地域のカレー屋さんを継続し、多世代の方々が交流する場で地域のことを考える機会をつくる</li> </ul> </li> <li>・地区社協事業の確実な実施と自治会長と民生委員の協力体制で高齢者の見守りを継続</li> </ul>										
		担い手の育成			<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記事業を通した多様な地域の方とのつながりで担い手を育成していく</li> </ul>									
		災害への取組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講座の継続                             <ul style="list-style-type: none"> <li>5/25(土)に鷲巻地区と合同開催、能登半島地震被災地の状況や西区の状況を学ぶほか、避難所開設後の地域の役割について学ぶ内容で実施。</li> </ul> </li> <li>・地区社協としての防災の取組み検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>発災時の声かけ、日頃の見守りについても検討する</li> </ul> </li> </ul>									

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
鷺巻	全員集合！ 鷺巻地区 ～笑顔の和をひろげよう～	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流会では活動日や地域での農繁期等を考慮すると参加者が固定され、参加人数も限られる</li> <li>・敬老会の開催有無を自治会ことの判断にしたため、地区社協の祝い品の対応に苦慮した</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降も世代間交流等地域交流を継続、参加者で喜びを共有、地域の繋がりを深める</li> <li>・配食サービスの見守り活動や情報交換会を通じて地域の状況を把握して認知症講座開催など、地域活動に取り組んでいく</li> <li>・災害を想定した実践的な訓練を重ね、自治会や地域全体で連携して取り組む</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について学習会を継続実施 自治会長と民生委員の情報交換会を活用して開催する</li> </ul>								
		交流の機会の創出		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティカフェわしのきを中心とした多世代交流の機会を創出する イベント開催だけでなく、介護に関する座談会なども計画する</li> </ul>								
		防災・減災の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施と防災講座の開催 5/25（土）、大郷地区と合同で防災講座を開催 防災訓練では昨年度と同様に実践的な訓練を行う</li> </ul>								
		人材育成・人材確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりの方々など、地域にいる多様な人材が活躍できる場づくりを検討する</li> </ul>								
		安心・安全な地域づくりの推進										
根岸	楽しく暮らせる住みよい根岸	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・元旦の地震から、防災への正しい知識を一般住民へ伝えることが必要と分かった</li> <li>・コロナ禍で活動が途切れたこともあり、新たに復活させるためには外部の力を借りたり、改めて自治会が声かけをしたりといった工夫が必要であることが分かった</li> </ul> </li> <li>●次年度引継ぎ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般住民の方々への正しい防災知識の啓発</li> <li>・自治会長へのアクションプランの説明会が令和5年度実施できず。次年度は実施する</li> <li>・2層園域茶の間交流会を根岸の茶の間に参加呼びかけ</li> <li>・根岸小の認知症の福祉教育を継続</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協の地域の茶の間への支援継続</li> <li>・地区社協の見守り事業継続</li> <li>・敬老会お誘い訪問による把握継続</li> <li>・地域の茶の間交流会実施検討</li> </ul>								
		防災・減災への取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生引き渡し訓練日に防災訓練を同日開催し、正しい防災知識の啓発を行う</li> </ul>								
		若い世代の参画・交流できる場の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あやめ祭り」の継続と多世代交流の工夫により、若い世代の地域活動への参加を促す</li> </ul>								
		人材育成・人材確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・根岸小学校福祉教育で障がい者や高齢者の理解を深める</li> </ul>								
		安心・安全な地域づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会ごとの活動で互いに見守り合う地域づくりを目指す</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
大通	今つなげよう！大通に安心と思いやりのネットワークを！	地域活動への住民の参画推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動を縮小していたため地域活動者が減少、活動が復活しても新たな人材に地域活動に関心をもって参加してもらうことが難しい</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な住民が少しずつでも関わられるよう工夫する 地区内の行事や事業について、地区全住民に対し呼びかけ</li> <li>・子ども食堂等の地域の団体を通じた地域活動への参加推進</li> </ul>								
		支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度への引継ぎ                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①徘徊ネットワークについて、自治会長ファイルの中身の引き継ぎと共に説明、システムの理解促進に努める</li> <li>②思いやりネットでは活動を継続しながら地域ニーズに合わせた支援メニューの検討を続ける</li> <li>③役員自らが楽しみ、ホラテイのすそ野を地道に広げる</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりネットの活動を継続しつつ、移動支援等新たなニーズに対する支援の検討を行う ゴミ出し支援については自治会の協力をよびかけ、ゴミ出し支援事業に取り組み自治会が増えるようはたらきかける</li> </ul>								
		防災・減災の取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協の防災活動事業の継続 防災訓練や避難所運営会議などを通じた積極的な取り組みを行う</li> </ul>								
		つながりのある地域づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協実施事業の継続</li> <li>・地域で見えづらい課題（ひきこもりや8050世帯など）について、70歳以上全戸訪問などの事業等を通じて声かけを行いながら把握、支援につなげる努力を続ける</li> </ul>								
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協だよりでの活動情報発信の工夫</li> <li>・地域で見えづらい課題（ひきこもりなど）をコミ協だよりで取り上げ、発信していく</li> </ul>								
白根	広げよう地域の輪 風の舞うまち しろね	支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題 白根お互いさま支援隊について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「南区お互いさま」と相談者・協力者が重複しているため受付～支援後の事務処理を分けて実施していく必要あり。</li> <li>・支援に入っている人が固定化。多くの人に関わってもらえるよう、依頼～コーディネートの流れ確認の必要あり。</li> <li>・支援の仕方を検討。必要な場合には他の制度やサービスの促しを行う。</li> </ul> </li> <li>●次年度への引き継ぎ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震時、自治会長や民生委員で心配な方への声かけを行った方がいた。地域住民へ声かけについて周知する機会が必要。</li> <li>・次世代の担い手発掘のための仕掛けづくりについて検討。</li> <li>・子育て支援について、既存の団体や活動を活用しての取り組みについて検討する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白根お互いさま支援隊報告の流れをつくり簡素化するほか、多様な会員が活動参加できる工夫を行う</li> <li>・顔の見える関係づくりの継続</li> <li>・配食サービスの継続や地域の茶の間、助け合い活動を継続していく</li> </ul>								
		災害への取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の際などに町内の協力の必要性や日頃の支え合いの重要性を一般の住民に伝えていく</li> <li>・白根南部では月1回防災会議を継続</li> </ul>								
		担い手の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いさま支援隊の活動員を募集するなど、地域の担い手を募集していく</li> <li>・白根第一中学校の生徒さんのゴミ出し支援協力の検討を行う</li> </ul>								
		白根児童センターと地域とのふれあい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターでの多世代交流を推進する 地区社協活動の中で児童センターの活動支援ボランティア団体の活動を応援する</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和6年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和6年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R5年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和6年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
味方 なじらね ばかい〜ね いきいき ふれあい ささえあい 味方地区		支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会の入会数が減少、後継者もおらず団体数も9団体から4団体に減った</li> <li>・民生児童委員の担い手がおらず2名欠員の状況が続いている</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービス「みんなの味方応援隊」を立上げと実施</li> <li>・敬老会の開催を通し、参加しない方への訪問など見守り活動につなげる</li> <li>・民生委員の見守り活動と連携しながら地域の心配な人を支援につなげていく</li> </ul>								
		地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べ地域住民の関係性の希薄化が感じられ、子供の数も減少しており地域の子供会も統合していくような動きも</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりになる前に、こどもの家から交流できる機会を地域でつくっていく 例) 老人クラブの輪投げ大会に子どもが参加できるような呼びかけや送迎の準備等々</li> <li>・家に閉じこもりがちの方が安心して集まれるような場も考えていく</li> </ul>								
		地域の中での交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度行った地区の様々な活動の中で出てきた課題や必要な取り組みを継続的に関係団体や地域の人と一緒に考えながら行っていく</li> <li>・今年度から開始された生活支援サービス「みんなのみかた応援隊」も走りながら味方地区に合った内容を検討していく</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間での子ども達との福祉の学びの場の開催 味方一番も組や吉江の茶の間での子どもと高齢者の学び合い活動を継続する</li> </ul>								
		組織強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に比べ地域住民の関係性の希薄化が感じられ、子供の数も減少しており地域の子供会も統合していくような動きも</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の地域活動の課題について検討を継続する場を持ち続ける 例) 支え合いのしくみづくり会議等</li> </ul>								
		PR活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの味方応援隊の周知やボランティア募集などを通し、活動をPRしていく</li> </ul>								
月湯 あいさつ 声かけ 思いやり つながり ぶっつ 獅子の里		支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取組んでの課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年延長で60歳を過ぎて働く人が多く役員の手不足</li> <li>・人口の減少や核家族化などの背景から地区で活動している団体役員の手不足や高齢化により茶の間の解散もある</li> <li>・イベント参加人数減少、検討必要</li> </ul> </li> <li>●新たな課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしと健康のついでに地元中学の演奏を行ったが会場への移動が課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康トークショーや地域イベント参加促進で健康寿命の延伸を目指す</li> <li>・環境美化活動や配食サービスでボランティア活動の活性化</li> <li>・認知症や障がい者への理解を小中学校の福祉教育などを通して深めていく</li> <li>・あいさつ、声かけ、見守り活動の継続</li> <li>・地域の茶の間の支援継続</li> <li>・便利帳を用いた高齢者の見守り継続</li> <li>・健康と福祉のついでに幅広い世代へ啓発</li> </ul>								
		地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度引継ぎ事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商天の会の新たな配食メニュー検討</li> </ul> </li> <li>・今年度行った内容の気付きや課題を検討しながら来年度も引き続き継続していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりや困っている人を支える</li> <li>・民生委員と自治会が連携して情報収集</li> <li>・緊急キット配布などの各種事業を通し、課題の把握に努める</li> </ul>								
		地域活動への住民の参画推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に地域で必要なことを拾い支え合いの取り組みで具体案検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館活動やコミュニティ講演会、茶の間での世代間交流を通じた体験や交流の機会の創出</li> <li>・老人会や茶の間参加者、学校保護者へのボランティア参加の呼びかけ</li> <li>・伝統芸能の伝承をおした地域活動の参加促進</li> </ul>								
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いのしくみづくり通信の発行</li> <li>・社協だよりでアクションプランのPR</li> <li>・SNSや学校HPで地域のことを発信</li> </ul>								